

令和4年11月22日 岐宿小学校だより第14号



えがお

五島市立岐宿小学校 校長 増田 祥子

○思いやりのある子
○楽しく学ぶ子
○たくましい子
笑顔あふれる、心身ともに
たくましい子供を育てます!

3年ぶり 笑顔あふれた 岐宿っ子祭り

3年ぶりに実施した岐宿っ子祭りは、地域の皆様の御理解と御協力により、交流をメインとして実施することができました。心から感謝申し上げます。「祭りを実施し子供の学びを止めない」、「実施することで感染を拡大させ子供や保護者、地域の皆様に御迷惑をおかけする不安」が交錯する中で、判断は難しいものがありました。そこで、参加者を小学生・保護者・講師・一步前の会会員に限定し縮小して実施することとしました。また、11月15日付け五島市ホームページの『10月31日から11月6日までに確認された新規陽性者は181人で、これを10万人あたりに換算すると、県内で3番目に多い結果』の記事、さらに雨天予報により校舎内で密になることが予想され、苦渋の決断ではありましたが、試食を取り止め、完成したお餅とぞろは当日配布し、家庭で食べてもらうことにしました。そのような中で、地域の方と子供や保護者の交流や体験活動を行い、参加者の笑顔あふれる様子を見て、本物のもつ力の凄さや、体験活動や交流が子供の学びのうえでいかに大切であるかを再確認しました。また、地域の皆様の温かさ、優しさ、子供や母校への深い愛情に触れることができました。皆さんの思いをつないで、いつの日か行動制限がない岐宿っ子祭りを開催できることを強く願っています。

岐宿大すき！フォトコンテストの投票結果

提出された42名分の写真を1階廊下に掲示し、小学生、教職員、保護者、地域の皆様に投票していただいた結果、低学年の部は3年生の中村きこさん、高学年の部は4年生の尾上よしひとさんが選ばれました。この後、2023年のカレンダーを作成予定です。投票への御協力ありがとうございました。



低学年の部 中村きこさん



高学年の部 尾野上よしひとさん

各学年の体験・交流活動

講師の皆様、保護者の皆様の御協力により、子供も大人も楽しめる交流や体験活動になり、笑顔あふれる充実した学びができました!! 心から感謝いたします。

体育館にて、11名の講師を迎えて、自己紹介や交流ゲームをした後、おはじき・コマ・けん玉・あやとり・竹とんぼの昔遊びを教えてくださいました。体験をしたからこそ、多くの子供が感想を発表することができました。日本の伝統文化を継承することと、コミュニケーション力や自分の思いを伝える力などよい学びにつながりました。

<1・2年 昔遊び>



<3・4年 竹細工>



交流スペースにて、6名の講師を迎え、自己紹介後に、竹とんぼ・竹水鉄砲・花びんやコップの制作をしました。ナイフを使うことから保護者にも見守っていただきました。完成後は遊びながら試す姿も。終わりの会では、お礼に「ありがとうの花」の歌を贈りました。旧川原小での取組を継承しています。

運動場にて、10名の講師を迎え、餅つきを行いました。餅米は、GTの山下繕市さんに指導をいただき田植え・稲刈りし収穫したものを使用しました。前日の米とぎや当日の火起こしなど保護者にサポートしてもらいました。子供は杵で餅つき体験、餅を丸める体験をしました。「杵が重い」「しわがでちゃった」など賑やかでした。旧山内小での取組を継承しています。

<5年 餅つき>



<6年 ぞろ>



家庭科室と多目的スペースにて、12名の講師を迎え、岐宿の郷土料理「ぞろ」を作りました。川原ファーム様から提供いただいた小麦粉を使い、「こねる→踏む→のばす→切る→ゆでる」作業をしました。今回は試食無しとなったため、出汁や具材はありません。親子で作業し小学校の思い出の一つにもなりました。旧岐宿小の取組を継承しています。